

SUZUKA



鈴鹿市勢要覧
SUZUKA CITY GUIDE

鈴鹿季節模様

四季折々、美しい表情を見せる鈴鹿の地。

季節の移り変わりが、毎日の営みを彩り豊かにしてくれます。



本市は東に伊勢湾を望み、西に鈴鹿山脈が連なる恵まれた自然環境の中にあり、古代からこの地域の中心地として栄えるなど、伝統ある歴史と文化にはぐくまれてきました。

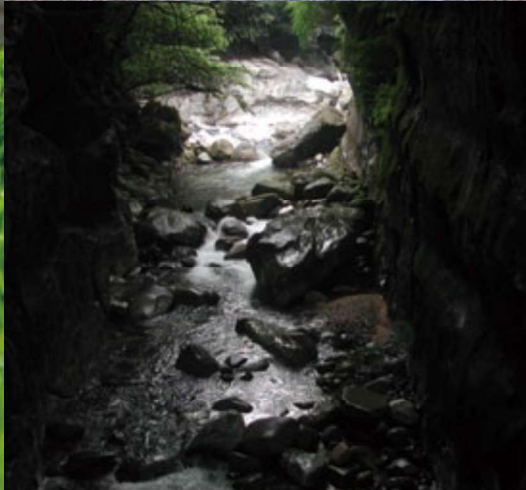
昭和17年に人口約5万人から出発し、その後自動車産業をはじめとした数多くの企業を誘致することで、伊勢湾岸地域有数の工業都市として発展してまいりました。また、農業においても豊かな大地の恵みを受け、お茶や花木をはじめ水稲などの生産が活発に行われるなど、工業と農業がバランスよく成長しながら現在に至っております。

また、近年では国際交流や市民文化の向上にも力を入れており、F1をはじめとした「モータースポーツのまち」として、国際的にも知られるようになりました。

こうした本市の魅力を、この市勢要覧では余すことなく紹介しております。これからも未来に向けて持続的に発展できるよう、市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



鈴鹿市長 末松 則子



index

□ 市長あいさつ	02
□ 防災	04
□ 福祉・医療・教育	05
□ 聖地・SUZUKA（モータースポーツ）	06
□ 高速道路・企業誘致	08
□ ものづくり	09
□ 文化・スポーツ施設	10
□ 歴史・文化財	11
□ 伝統産業 / 農産物	12
□ 人権・地域協働 / 市議会	13
□ 鈴鹿市イベントカレンダー	14
□ 交通アクセス	15

1	2	4	6
	3	5	7

- 1 石薬師高校前のサクラ
- 2 佐佐木信綱記念館の卯の花
- 3 茶摘み
- 4 伊奈富神社のムラサキツツジ
- 5 小岐須溪谷屏風岩
- 6 神戸城跡のイチヨウ
- 7 雪の桃林寺

防災

Disaster prevention

自助・共助・公助のまちづくり

市民一人一人が安心して生活ができるよう、本市では、近い将来発生が予想される南海トラフ地震などの災害への対応や啓発に積極的に取り組んでいます。

自助（市民の防災・減災力の向上）



住宅・建築物の耐震化促進

木造住宅の無料耐震診断や耐震補強設計、耐震補強工事、除却工事の補助を行うことで、耐震基準が低いとされる昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた住宅や建築物の耐震化を図っています。

災害時要援護者宅の家具転倒防止対策

家具転倒防止の対策を自ら行うことが難しい高齢者や障がい者などの住宅に、専門的な知識を持つ大工さんを派遣し、無料で家具固定を行うことで、災害時要援護者の安全を確保しています。

共助（地域の防災・減災力の向上）



自主防災隊の強化

自主防災隊と消防団、地域の各団体が連携した防災訓練を企画・支援し、災害時の初期消火、救助、避難誘導、搬送などに使用する自主防災隊の資機材の整備や人材育成の補助を行うことで、地域の防災力強化を図っています。



地域の防災訓練、防災啓発への支援

自治会、地域づくり協議会などの地域団体や学校、企業、団体などが行うさまざまな防災訓練や防災研修会を企画、支援することで、地域の防災力強化を図っています。

公助（行政の防災・減災力の向上）



津波避難ビルの指定拡大

津波浸水予測区域に立地し、津波から一時的に緊急避難するための堅固で高さのある施設に対し、津波避難ビルの整備の補助を行うことで、現行の28カ所の津波避難ビルのさらなる指定拡大を図っています。

防災施設の整備

南海トラフ地震の想定避難者数に応じた防災備蓄物資の増強や、津波浸水予測区域の避難者が多く避難する津波対応収容避難所の停電対策など、避難所の防災機能を強化しています。

防災情報の提供（システム、マップなど）

緊急速報メール、市ホームページ、防災スピーカー、メルモニ災害メール、コミュニティFM、ケーブルテレビL字放送など、さまざまな方法で防災情報を提供するとともに、防災マップの随時更新、配布を行っています。



防災協定
などの一覧



防災体制の強化

災害時に、他の自治体や民間企業、団体などの支援を受けることができるよう、さまざまな防災協定を締結するとともに、市の地域防災計画や災害時の対応マニュアルなどを随時更新し、防災体制の強化を図っています。

福祉・医療・教育

Welfare, Medical care, Education

途切れのない支援

子どもたちの健全な育成や高齢者が生きがいを感じられるよう、学校、地域、家庭が連携した取組を進めています。

誰もが輝き、健康で暮らすために



01 → すずっこスクエア

集団になじみにくい子どもとその保護者を対象に、子どもの特性に応じたサポートを臨床心理士・保健師・教員・保育士などが一緒に考えます。子育てに不安を感じる保護者に寄り添い、気軽に相談できる窓口となっています。

02 → 子育て支援センター「りりん」「ハーモニー」

施設内のおもちゃや遊具などで子どもたちを気軽に遊ばせることができます。また、保護者同士で交流したり、スタッフに子どもの健康や子育てなどの相談をすることができる憩いの場となっています。

03 → 療育センター

第1療育センター、第2療育センターからなり、お子さんの発達段階に寄り添い、さまざまな遊びや訓練を行うことで、成長の発達を促し、個人として日常生活に必要な力を身に付けるよう支援を行います。

04 → 5歳児健診

児童の得意なところや苦手なところを理解し、成長に応じて就学前から早期の支援を実施することにより、自信をもって生活ができるよう、満5歳児の児童を対象に健診を行い、継続して健診後のフォローを行っています。

05 → すくすくファミリー教室

夫婦や親子で気軽に参加でき、楽しみながら知識の習得や体験学習、仲間づくりができる各種教室を開催しています（プレパパママ、沐浴、マタニティ歯科、マタニティクッキング、離乳食コースなど）。

06 → 認知症サポーター養成講座

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、認知症の理解を地域全体に広めるために、あらゆる機会を活用し、認知症に関する知識の普及啓発を行っています。

急病患者にも対応



応急診療所

総合保健センターの中にあり、医師会、薬剤師会の協力で、急病患者の方に応急の診療をしています。土曜日・日曜日、祝日の夜間は、小児科専門医による、小児科夜間応急診療をしています。

さまざまな視点から「教育」の支援体制を整備



ICT教育

より質の高い授業を行う環境を整え、未来を支える人材を育てるため、学習用ICT機器を積極的に活用し、プログラミング教育や英語教育をはじめ、子どもたちが分かりやすく、一人一人の能力や特性に応じた学びが実現するよう取り組んでいます。



エアコンの設置 トイレの洋式化

子どもたちが快適に学べる学習環境を整備するため、市立の小・中学校の普通教室と特別教室のすべてにエアコンを設置しています。また、トイレの洋式化・乾式化にも順次取り組んでいます。

聖地・SUZUKA

Sacred place・Suzuka (motor sports)

人々に夢を与える「モータースポーツ都市」

本市は、平成16年に「モータースポーツ都市」を宣言しました。

四季折々の美しい自然や、伝統文化とともに、躍動感あふれるモータースポーツを愛することによって、生き生きとした夢や未来を語ることのできるまちを目指しています。



© SUZUKA CIRCUIT

01

「モータースポーツ都市」としての多彩な取り組み



鈴鹿モータースポーツ フェスティバル

欧州・日本・アジアなど、世界各国で活躍するGT300・GT3マシンが一堂に会する「SUZUKA 10 HOURS」。そのレースの参戦車両が公道をパレードします。



02

世界から注目される 国際レースを開催

01 → F1日本グランプリ

モータースポーツ最高峰のレース・F1日本グランプリは、最新テクノロジーを駆使したF1マシンを操るドライバーたちが熾烈なバトルを繰り広げます。F1マシンの迫力あるエンジン音とスピードは、世界中のファンを魅了し、毎年多くの観戦客で盛り上がります。

02 → 鈴鹿8時間耐久ロードレース

「8耐」の愛称で知られ、ライダーはもちろん、全国のバイクファン憧れの2輪耐久レース。日が暮れたコースをライトが照らす終盤は、毎年ドラマチック。ライダーが戦いの終わりを告げるチェッカーを受けるシーンは、観戦客に多くの感動を与えます。



03



04



05



06



07



08

03 → 8耐前夜祭「バイクであいたいパレード」

日本最大級の交通安全パレード。全国各地から集まった約700台のバイクが鈴鹿市内の公道をパレードし、ゴール地点の鈴鹿サーキットまで走行します。

05 → ピットウォーク

マシンを間近で見れたり、ライダーやドライバーを撮影できるチャンスがあったり、お祭りムードを味わえます。チケットがあれば誰でも入場できます。

07 → 「PIT SUZUKA」

新名神高速道路の「鈴鹿パーキングエリア」にある「PIT SUZUKA」には、F1や鈴鹿8耐などのマシンの展示や、実際に使用されたレーシングスーツなどが展示されています。

04 → レーシングライダー・マシン学校訪問

子どもたちにモータースポーツに触れる機会を提供し、ライダーの話聞くことにより、夢を持つ大切さを感じてもらうことを目的に実施しています。

06 → F1市民応援席

市民の皆さんに世界最高峰のレースを肌で感じていただき、鈴鹿市の財産「モータースポーツ」に親しみ、理解を深めていただけるように設置しています。

08 → 白子駅西ロータリーモニュメント

鈴鹿サーキットへの玄関口となる「近鉄白子駅」西口に、モータースポーツのまちを象徴するモニュメントを設置。チェッカーフラッグをあしらったデザインが特徴です。

高速道路・企業誘致

Express way, Enterprise invitation

道路がつなぐ企業・産業

戦後、数々の優良企業を誘致した本市はその後順調に発展を続け、三重県下有数の工業都市としての地位を確立しています。元気な鈴鹿市としてさらに発展し続けるために、企業誘致や道路の整備にも力を注いでおり、現在「鈴鹿四日市道路」「鈴鹿亀山道路」の整備促進を図っています。



新たな工業団地造成の推進

食料品産業やプラスチック産業など、日本を代表する大企業が操業しています。中でも輸送用機械製造業が市内製造品出荷高の多くを占めて、名実ともに「自動車のまち」と言えます。今後も道路アクセスの進展を背景に、企業誘致を進めます。

鈴鹿市企業立地支援制度

市内に立地を希望する企業に対して、民間の遊休地情報を保有する宅地建物取引業者などからの情報を提供するとともに、立地した企業（製造業など）が一定の要件を満たす場合に、投資に係る固定資産税額に応じた補助金を交付する奨励金制度を整えています。



写真提供: 中日本高速道路(株)



新名神高速道路・鈴鹿PAスマートIC

平成31年3月に新四日市JCT～亀山西JCT間の約23kmおよび鈴鹿PAスマートICが開通しました。市民の暮らしの向上や、アクセス向上による地域産業の発展や観光振興、物流の安定化など、多面的な効果が期待されています。

国道23号中勢バイパスの開通

中勢バイパスは、鈴鹿市を起点として、三重県の南北方向を結ぶ幹線道路。国道23号の交通渋滞解消とバイパス周辺の適切な土地利用を促し、地域経済の発展に資するために計画され、鈴鹿・津工区が平成31年2月に開通しました。

ものづくり

Manufacturing

発展を続ける鈴鹿のものづくり

本市には、自動車、食品、医薬品、精密機器など、幅広い業種の日本を代表する製造企業が立地しています。また、ものづくりを支える多くの中小製造企業も集積し、私たちの暮らしを豊かにする製品を日々製造しています。

幅広い業種の製造企業が立地

鈴鹿工業クラブ

鈴鹿市の商工業の発展に寄与することを目的に設立。製造業を中心に、幅広い業種の企業が加盟しています。



旭化成株式会社製造統括本部鈴鹿製造所



本田技研工業株式会社鈴鹿製作所



AGF鈴鹿株式会社

鈴鹿工業クラブ会員企業 (令和2年3月末日現在)

- ・旭化成(株)製造統括本部鈴鹿製造所
- ・NC中日本コンクリート工業(株)
- ・シキボウ(株)鈴鹿工場
- ・本田技研工業(株)鈴鹿製作所
- ・富士電機(株)鈴鹿工場
- ・敷島スターチ(株)
- ・大日本住友製薬(株)鈴鹿工場
- ・(株)フジクラ鈴鹿事業所
- ・住友電装(株)鈴鹿製作所
- ・AGF鈴鹿(株)
- ・富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所
- ・(株)ホンダロジスティクス三重事業所
- ・中部電力(株)電力ネットワークカンパニー鈴鹿営業所
- ・(株)トーエネック鈴鹿営業所

日々の生活を支えるものづくり企業



三恵工業株式会社

折りたたみいすを中心とした、いす生産のパイオニア企業



株式会社東和食彩

多くの食品メーカーやコンビニエンスストアの食品を製造



東海醸造株式会社

創業300年余り。伝統技法を守り続けるみそ、しょうゆの蔵

中小製造企業への支援も充実



ものづくり産業支援センター

企業OBの専門アドバイザーの知識や経験を活用した組織。中小製造企業の困りごとの解決に向けて、アドバイザーを無料で派遣したり、人材育成研修を行うなど、中小製造企業の視点に立った独自の取り組みを行っています。



鈴鹿市ものづくり企業交流会

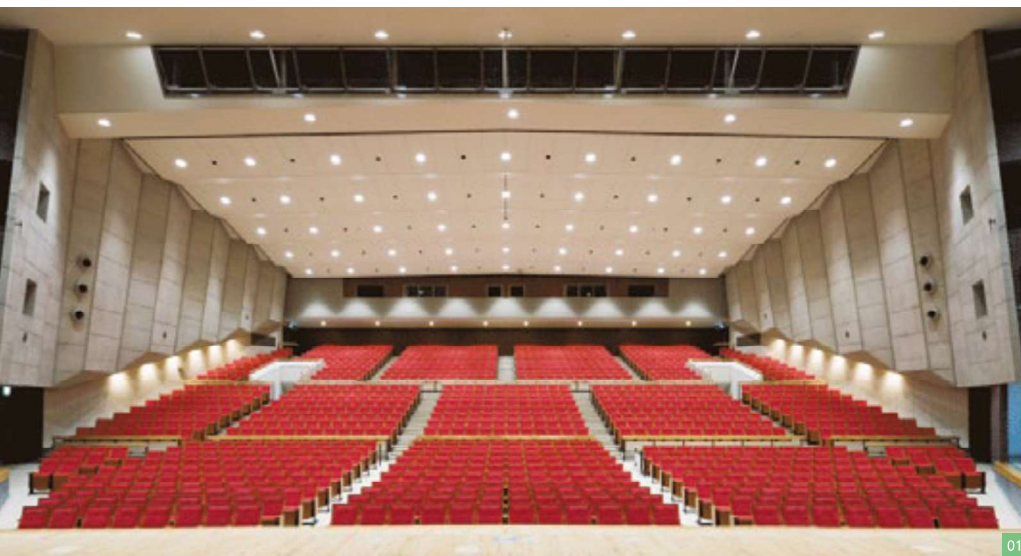
市内に事業所を有する中小製造企業が一堂に集まり、交流会を行っています。自社製品の展示によるPR、販路開拓の促進、産業支援機関との連携など多彩な内容で、市民に「ものづくり」を知っていただく貴重な場となっています。

文化・スポーツ施設

Culture, Sports facilities

心豊かに文化やスポーツと触れ合う

地域の活性化のための取り組みとして、文化・スポーツ施設の整備に力を入れています。郷土が誇る偉人の偉業を語り継いだり、スポーツを通じて市民の健康増進を図るためにつくられた施設が、市民の生活を豊かにしています。



01 → イスのサンケイホール鈴鹿(鈴鹿市民会館)

コンサートや演劇などのほか、各種大会、式典の開催にも利用できる施設。ホールの客席数は1,275席(車イス利用者用のスペース7台分を含む)です。また、2階には会議や展示会に利用できる展示室があります。

03 → 鈴鹿市立図書館 (写真は江島分館)

総蔵書数35万冊以上を誇ります。本館には一般閲覧室、児童閲覧室、学習室に加え、読み聞かせができるおはなしのへやなどがあり、講座や映画会など多種多様なイベントも開催しています。また、江島には児童図書を多く集めた分館もあります。

05 → 佐佐木信綱記念館

唱歌「夏は来ぬ」の作詞者として知られる、歌人で国文学者の佐佐木信綱。この記念館には、文化勲章をはじめ、信綱の著作や遺品、原稿を展示する資料館や生家、土蔵、文庫があります。

02 → 鈴鹿市文化会館

館内には舞台と500席の客席を備えるけやきホールや多目的スペースのさつきプラザがあります。また、他にも研修室・調理室・音楽室・和室などがあり、多目的な利用ができます。

04 → AGF鈴鹿体育館

室内スポーツができる正・副体育館とトレーニング室があります。「三重とこわか国体」の開催に向け改修工事を行い、2020年4月にリニューアルオープンしました。

06 → 大黒屋光太夫記念館

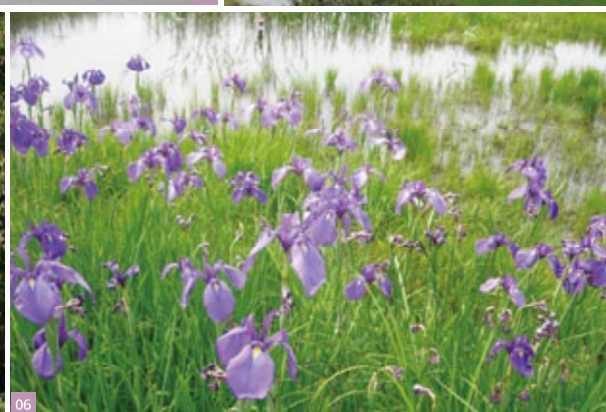
江戸時代にロシアに漂流し、西洋文化を経験して帰国した初めての日本人、大黒屋光太夫。この記念館では、光太夫関係の古文書や遺品、肖像画などが収蔵・展示され、季節ごとに企画展も開催されています。

歴史・文化財

History, Cultural property

先人の足跡をたどり、文化を継承する

東海道や伊勢街道など古来からの街道沿いにあり、伊勢湾に臨み海上交通も盛んだったこの地は、多くの人々とともに物や情報が行き交う交通の要衝であり、古代からさまざまな歴史や文化に彩られてきました。



01 → 鈴鹿市考古博物館

鈴鹿市には、河川の流域や海岸平野を中心に多くの遺跡が残されています。市内からの出土品を保管展示し、特別展や体験講座を通じて昔の人々の暮らしや文化を探る情報発信センターを目指しています。

03 → 国指定史跡 伊勢国分寺跡

国分寺は、聖武天皇の詔により全国に建てられた官営寺院です。伊勢国分寺跡は昭和63年から発掘調査が進められ、その成果をもとに歴史公園として整備されました。

05 → 県指定史跡 神戸城跡

神戸家の居城として築城され、織田信長の三男・信孝が神戸家の養子となり五層の天守閣を築き威風を誇ったと言われています。現在は野面積みの石垣のみが当時の面影を伝えています。

02 → 伊勢型紙資料館

江戸末期の建物で白子屈指の型紙問屋であった寺尾齋兵衛家（市指定史跡）を修復して公開しています。鈴鹿の特産である伊勢型紙について、江戸から現代までの型紙や関連する歴史資料などを展示しています。

04 → 国指定史跡 伊勢国府跡

奈良時代、伊勢国の役所があった場所です。広瀬町の南西から亀山市にかけて奈良時代の瓦が散布する大規模な遺跡で、発掘調査が進められています。

06 → 国指定天然記念物 金生水沼沢植物群落

標高約20mの平野に位置する湿地性の植物群落で、約7,000㎡の指定地内には、ミミカキグサやトウカイコモウセンゴケなど、湿地特有の植物が生育しています。

伝統産業

Traditional industry

脈々と受け継がれる「匠の技」

1,000年以上の昔から引き継がれた技術の「粋」を結集した伊勢型紙と鈴鹿墨は、経済産業大臣指定の伝統的工芸品です。現在も脈々と引き継がれる一方、その技術を生かした新しい商品も開発されています。



伊勢型紙

友禅や小紋などの柄・文様を着物の生地に染める際に用いる型紙。3枚の和紙を柿渋で張り合わせて加工した型地紙に、職人が多くの種類の彫刻刀を使い、熟練した技術で彫り抜いていきます。



鈴鹿墨

鈴鹿の山々の松などを燃やして生じる煤を使って、奈良時代後期にはすでに墨作りが行われていたと伝えられています。発色が良く上品で深みがあるのが特徴で、墨としては日本で初めて伝統的工芸品に指定されました。



伝統産業会館

「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」の歴史や製造過程、道具などが公開されています。江戸期から現在までの名匠による作品を生で見られる貴重な施設です。「伊勢型紙」、「鈴鹿墨」を使ったワークショップを楽しむことができます。

農産物

Agricultural products

豊かな自然に育まれた逸品

県下有数の工業都市であると同時に、豊かな自然が今もなお残る鈴鹿市は、大地の恵み、海の恵みを受けた農・水産業が盛んです。茶栽培も多く、中でも収穫前に覆いをかぶせる「かぶせ茶」は、上質なお茶として人気があります。

お茶

緑あふれる鈴鹿山脈の伏流水で育った鈴鹿の茶葉。全国第3位の生産量を誇る三重県の中でも、有数の産地である「お茶どころ鈴鹿」の「かぶせ茶の一番茶」は、贈答品としても知られています。



植木

鈴鹿市は、全国有数の植木生産地です。特に、ツツジやサツキは盛んに栽培され、全国でも有数の生産量を誇っています。毎年4月には、「鈴鹿市植木まつり」が開催され、植木を買い求める多くの人でにぎわいます。



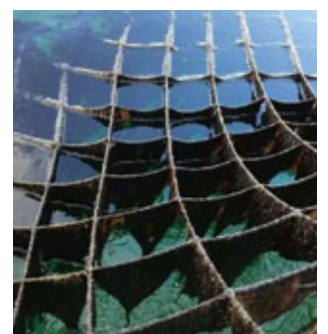
卵

鈴鹿市の鶏卵生産者が大切に育てた「鈴鹿山麓おいしい赤たまご」が人気。県内でも生産量トップを誇ります。黄身はこんもりしていて、ほのかなオレンジ色。コクのあるおいしさです。



海苔

鈴鹿市では、秋季の中ごろから海岸線に養殖用の網が張られ、冬季の間に摘み取りが行われます。ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養豊富で、昔からなじみ深い食材です。



人権・地域協働

Human rights, Local collaboration

みんなに愛されるまちを目指して

鈴鹿市では、「みんなで創り 育み 成長し みんなに愛され選ばれるまち すずか」の実現に向け、すべての人権が尊重され、誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、環境整備に取り組んでいます。



01 → 人権

世界の恒久平和を願い「非核平和都市宣言」、人権尊重の輪を広げるため「人権尊重都市宣言」を行っています。「平和への祈り展」、「人権ふれあい劇場」、「じんけんフェスタ in すずか」などを通じて、人権尊重の意識の向上を図っています。

03 → 男女共同参画

誰もがあらゆる分野において活躍できる社会の実現を目指しています。毎年開催している「ジェフリーふえすた」は、楽しみながら男女共同参画について学べるイベントです。また、民学官が協働で設立した「SUZUKA女性活躍推進連携会議」では、働く女性の活躍を支援するための取り組みを進めています。

02 → 多文化共生

本市は外国人住民の割合が高く、定住化が進んでいます。お互いの文化を尊重し、協力しながら、地域社会の構成員として共に生きていくため、「わいわい春まつり」などの交流の機会をつくり、多文化共生のまちづくりを推進しています。

04 → 地域協働

市民の皆さんが地域に愛着を持ち、地域の絆を深めながら互いに支え合い、将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、住民主体の地域づくりを進めています。住民、自治会、ボランティア、PTAなど、さまざまな団体が連携を深め、地域の活性化に取り組んでいます。

市議会

City Council

市民の代表として市政の発展のために

安心して暮らしやすいまちをつくるため、市民の声を行政に届け、ルールを決め、チェックするのが市議会です。議員定数は32人で、議会が主導的かつ機能的に活動できるようにするため、会期を約1年とする通年議会を実施しています。本会議の様子は、ケーブルテレビ局で生中継をしています。



鈴鹿市

Suzuka City
Event calendar



イベントカレンダー

「モータースポーツのまち」として知られる鈴鹿市。F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースをはじめ、多くのレースが開催されます。また、鈴鹿フェスティバルや鈴鹿シティマラソンなど、皆さんが主役のイベントも盛りだくさん。年間を通じて行われる数々のイベントが、まさに「元気」を与えてくれます。

- 1月 ● 消防出初式
- 2月 ● 梅まつり (菅原神社、鈴鹿の森庭園など)
- 3月 ● モータースポーツファン感謝デー
- 4月 ● さくらまつり (市内各所)、つつじまつり (伊奈富神社)
鈴鹿市植木まつり
- 5月 ● 鈴鹿新茶まつり
- 6月 ● ホタル観賞 (鈴鹿ほたるの里 ほか)
- 7月 ● 山開き (小岐須溪谷)
海開き (千代崎海水浴場、鼓ヶ浦海水浴場)
バイクであいたいパレード、鈴鹿8時間耐久ロードレース
- 8月 ● 鈴鹿フェスティバル、鈴鹿モータースポーツフェスティバル
SUZUKA 10H
- 9月 ● 鈴鹿げんき花火大会
- 10月 ● F1日本グランプリ
- 11月 ● 鈴鹿バルーンフェスティバル
- 12月 ● 鈴鹿シティマラソン

01 山開き、海開き

鈴鹿国定公園に指定される鈴鹿の山々、遠浅の海と美しい白浜が続く千代崎海水浴場、鼓ヶ浦海水浴場。毎年、数多くの登山客や海水浴客でにぎわいます。

02 鈴鹿フェスティバル

毎年市内外から多くの踊り子の皆さんが参加する鈴鹿の夏の風物詩「鈴鹿フェスティバル」。2日間にわたり自慢の踊りを披露し、夏を熱く盛り上げます。

03 鈴鹿バルーンフェスティバル

東海地方唯一の熱気球大会。鈴鹿河川緑地を会場に、毎年約30機もの熱気球が一斉に飛び立つ様子は圧巻です。秋の鈴鹿の空が色とりどりの熱気球で彩られます。

04 鈴鹿シティマラソン

F1や鈴鹿8耐のマシンがレースを行う鈴鹿サーキット国際レーシングコースを実際に走れるなど、毎年全国から多くのランナーが参加し、健脚を競います。



01
02



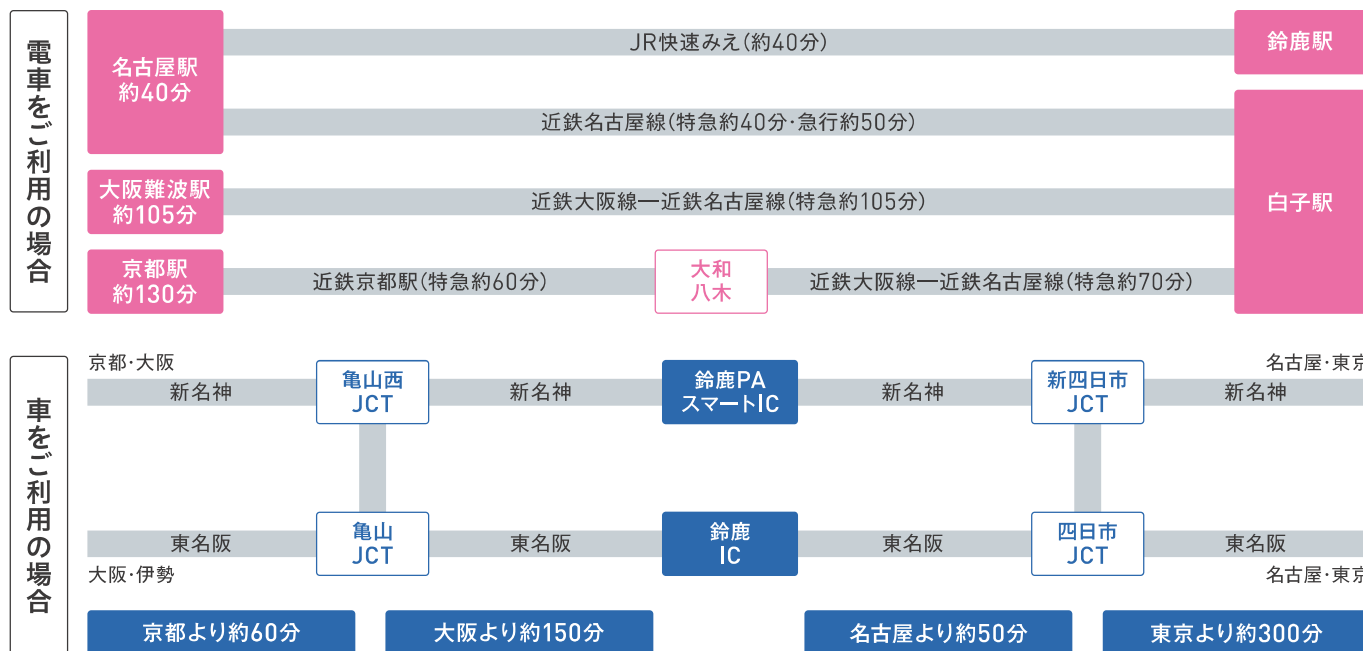
03
04





名古屋へ電車で約40分、大阪へ約1時間半 日本の二大都市にアクセスしやすい鈴鹿市

鈴鹿市には、近鉄名古屋線や近鉄鈴鹿線をはじめ、伊勢鉄道、JR関西本線の路線があります。また自動車では、東名阪自動車道、新名神高速道路があり、名古屋や大阪、京都へのアクセスも良好です。



市制記念日「12月1日」

昭和17年12月、2町12カ村が合併して鈴鹿市が誕生

市章

円満な市政を願い、「鈴」の丸い形をデザイン化
昭和19年に制定



市民憲章

- 1 自然を愛し 緑豊かなまちをつくります。
 - 1 互いに助け合い あたたかいまちをつくります。
 - 1 健康に心がけ 生きがいのあるまちをつくります。
 - 1 教養を深め 文化の香り高いまちをつくります。
 - 1 郷土を誇り 力づよいまちをつくります。
-

市の木「けやき」

鈴鹿市の緑の豊かさを象徴
昭和62年の市制45周年を記念して制定



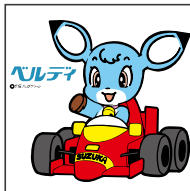
市の花「さつき」

全国に誇る鈴鹿市の特産品
昭和62年の市制45周年を記念して制定



市のマスコットキャラクター ベルディ

平成4年の市制50周年を記念して生まれた鈴鹿市のマスコットキャラクター。「鈴鹿」の地名の由来を表現し、だれもが身近に感じ、だれからも親しまれ、愛されるイメージを表現する「鹿と鈴」をモチーフに制作



宣言

- 交通安全都市宣言
 - 非核平和都市宣言
 - 人権尊重都市宣言
 - 青少年健全育成都市宣言
 - 鈴鹿いきいきスポーツ都市宣言
 - モータースポーツ都市宣言
 - 男女共同参画都市宣言
-

友好都市

- ベルフォンテン市 (アメリカ)
- ル・マン市 (フランス)

鈴鹿市勢要覧

編集・発行／鈴鹿市政策経営部情報政策課 〒513-8701 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号
|TEL|059-382-1100 |FAX|059-382-2219 |HP|<http://www.city.suzuka.lg.jp/>

発行年月／令和2年4月 印刷／株式会社コミュニケーションサービス